

本校では、今年度、次のようなアクションプランを設定し、重点課題に向けて取り組みます。

令和2年度 荻生小学校アクションプラン1	
重点項目	【徳】生徒指導 一やさしく一
重点課題	好ましい人間関係を築く子供の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶運動や「ぼかぼか言葉大作戦」等の取組の成果により、自分から挨拶したり、相手を思いやる言葉遣いを意識したりする子供が増えてきた。しかし、定着までには至っていない。</li> <li>・好ましい人間関係を育むためにも、挨拶や言葉遣いを意識する環境をさらに整えていく必要がある。</li> </ul>
達成目標	・気持ちのよい挨拶や望ましい言葉遣いができる児童の割合80%以上を目指す。
方 策	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 家庭、地域の協力を得ながら、挨拶運動や「ぼかぼか言葉」の推進に取り組んでいく。</li> <li>② 相手を「～さん」と呼ぶことの習慣化を図る</li> <li>③ 生活アンケートや教育相談、教職員間の情報交換等により、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、適切な対応に努める。</li> </ol>
令和2年度 荻生小学校アクションプラン2	
重点項目	【知】学力向上 一かしこく一
重点課題	自主的に学習する子供の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度、発達段階に応じて家庭学習ノート（自学ノート）の目当ての冊数を見直した。低学年5冊、中学年6冊、高学年7冊を目当てとすることで、達成できる児童が増えてきた。しかし、見通しをもって自主的、計画的に取り組めない児童が見られる。</li> <li>・目当ての冊数を達成できた児童の中には、内容やまとめ方、丁寧さに課題が見られる子も多い。</li> </ul>
達成目標	家庭学習に取り組む時間が学年の目標（学年×10分）に達成した児童の割合90%以上を目指す。
方 策	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 家庭学習ノート（自学ノート）の強調週間を学期に1回設定し、目当てと学習計画を立てることで、見通しをもって取り組めるようにする。</li> <li>② 学年の目当ての冊数を達成した児童を全校で紹介したり掲示したりしながら、全体の意欲付けを図る。</li> <li>③ 自学ノートの紹介コーナー（自学ノート展）等を工夫して行うで、内容面の充実に努める。</li> </ol>
令和元2年度 荻生小学校アクションプラン3	
重点項目	【体】健康・安全の指導 一たくましく一
重点課題	基本的な生活習慣が身に付いている子供の育成
現 状	・毎月行う「生活習慣チェック」の中の「就寝時刻」を守ることができた子供の割合が、低学年74.7%、中学年71.5%、高学年88.0%、全校平均77.7%だった。そのため、朝から眠そうにしている子供や集中力が続かない子供が多く見られる。
達成目標	毎月行う「生活習慣チェック」で「就寝時刻」を守ることができる児童の割合80%以上を目指す。
方 策	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 「生活習慣チェック」や「とやまゲンキッズ」で就寝時刻の実態を把握する。結果を掲示したり、保健だより等で家庭に知らせたりすることで、「早く寝る」意識を高めるようにする。特に、就寝時刻が遅い子供には、個別指導を行う。</li> <li>② 「早寝、早起き」について保健指導や学級指導を行うことで、望ましい生活習慣が身に付くようにする。 就寝時刻が遅くなる原因の一つであるテレビやゲーム等の「メディアに費やす時間」について実態を把握し、減らす取組を工夫して行う。</li> </ol>